

地域子ども・子育て支援事業における「量の見込み」「提供区域」の設定について（一覧表）

資料 1-2

No.	事業名	事業概要	現状 (H24実績)	提供区域	提供量 (仮数値)	見込み量【暫定値】					備考
						H27	H28	H29	H30	H31	
1	一時預かり事業	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主に昼間において幼稚園などで一時的に預かる事業	【保育所】 13箇所 8,440人 【幼稚園】 28箇所 2,035人	7ブロック	H24実績 10,475人	10,521人	10,314人	9,969人	9,736人	9,584人	提供区域内でニーズに対応できる教育・保育施設の確保に努める
2	延長保育事業	通常保育時間（11時間）を超えて保育を行う事業	実施施設数 31箇所 1,151人	7ブロック	提供量： 教育・保育の見込み量より 提供量 →	1,937人	1,896人	1,851人	1,818人	1,783人	提供区域内でニーズに対応できる教育・保育施設の確保に努める
3	病児・病後児保育事業	児童が急な病気となった場合、病院等に付設された専用スペースで看護師等が一時的に保育を実施する事業	施設数 2箇所 延べ利用者数 2,324人	1ブロック	現施設の年間受入可能 3,920人	9,605人	9,417人	9,213人	9,031人	8,856人	病児・病後児の施設を増やす検討が必要
4	地域子育て支援拠点事業	乳幼児・保護者の相互交流の場として開設し、子育て相談や各種情報提供・助言等の実施	【ひろば型】 2箇所 〇くれくれ・ば 〇ひろひろ・ば 利用者 52,290人	2ブロック	H24実績 123,831人	99,864人	98,464人	97,284人	95,292人	93,120人	見込み量に対して供給量が上回っているが、より自宅のそばでサービスが受けられるよう、施設を増やす検討が必要
			【センター型】 6箇所 〇保育所・認定こども園で開設 577回 71,541人	7ブロック							
5	こんにちは赤ちゃん事業	生後4ヶ月までの乳児のいる家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や乳児及びその保護者の心身の状況、養育環境の把握等行う事業	【出生数】 1,720人 【訪問数】 1,632人	1ブロック	提供量： 出生数× 訪問率(94.1%)	1,553人	1,519人	1,491人	1,458人	1,415人	訪問についての広報を行うとともに長期の不在等で訪問ができない家庭の状態確認と情報提供が必要
6	妊婦健康診査事業	妊婦の健康保持及び増進を図るため、健康状態の把握、検査計測、保健指導を実施するとともに、妊娠期間中に必要に応じた医学的検査を実施する事業	【妊婦健康診査延べ利用人数】 21,604人	1ブロック	提供量： 見込み量と同じ	20,318人	19,875人	19,515人	19,072人	18,521人	早期に母子健康手帳の交付を受けることで健診の回数を増やすことができる
7	子育て短期支援事業 (ショートステイ、トワイライトステイ)	保護者の疾病等により家庭において児童の養育が困難となった場合等に、児童養護施設など入所させ必要な保護を行う事業（ショートステイ事業）及び夜間行う事業（トワイライトステイ）	【ショート】 延べ利用日数 125日	1ブロック	H24実績 【ショート】 延べ利用日数 125日	264日	257日	250日	241日	239日	供給量が追いついていない状態だが、今後、各施設における受け入れ体制の整備が必要
			【トワイライト】 延べ利用日数 218日		H24実績 【トワイライト】 延べ利用日数 218日						
8	ファミリー・サポート・センター事業	児童の預かり等の援助を受けることを希望する依頼会員と、援助を行うことを希望する提供会員との相互援助活動に関する連絡・調整を行う事業	【利用者数】 1,117人	1ブロック	H24実績 1,117人	1,105人	1,094人	1,083人	1,072人	1,060人	利用者（依頼者）の利用ニーズと提供会員のバランスを保ちつつ、より制度の充実を図ることが必要
9	養育支援訪問事業	養育支援が必要と認められる世帯に対し、家事、育児等の援助を行うことにより、当該家庭の抱える養育上の諸問題の解決・軽減を図り、家庭の養育力の育成及び向上を支援するため、子育てヘルパーを派遣する事業	【子育てヘルパー】 実人数 40人 延べ人数 95人 利用日数 776日	1ブロック	H24実績 【子育てヘルパー】 実人数 40人 延べ人数 95人 利用日数 776日	実人数 40人 延べ人数 100人 利用日数 800日	実人数 40人 延べ人数 100人 利用日数 800日	実人数 40人 延べ人数 100人 利用日数 800日	実人数 40人 延べ人数 100人 利用日数 800日	実人数 40人 延べ人数 100人 利用日数 800日	養育支援を必要とする家庭への事業であるため、年々増加する見込み量ではなく、個々の内容に見合った支援とする見込み量を設定
		児童虐待をはじめとして、子どもをとりまく問題は、複雑・多様化しており、問題が深刻化する前の早期に発見し、早期に支援していくことで家庭の安定を図るとともに、地域におけるきめ細かな支援体制を整える事業 要保護児童対策地域協議会（代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議など）	個別ケース検討会議 45回：81人		H24実績 個別ケース検討会議 45回：81人						
10	放課後児童会健全育成事業	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生の児童に対し、放課後に小学校の余剰教室等を利用し適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を図る事業	開設数 35箇所 利用児童数 1,843人	35ブロック (小学校区)	H24実績 1,843人	2,639人	2,661人	2,659人	2,649人	2,613人	見込み量の拡大に伴い、教室整備、指導員の確保・研修等が必要